

MITSUBISHI

0309873HC6301

セントラル排気システム

形名

V-180SZ4-N-PAC

V-18ZMPC3-PAC2

取扱説明書

お客さま用

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
 なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、同封の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

お客さま自身が取付けないでください。(安全や機能の確保ができません)
 取付場所・取付けに関して不具合があった場合は販売店へご相談ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

<p>警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p>	<p>注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</p>
<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない (爆発や引火のおそれがあります) 窓を開けて換気してください 	<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない (本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります)
<p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品に水をかけたりしない (ショートや感電の原因になります) 	<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない (火災のおそれがあります)
<p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない (火災・感電・けがの原因になります) 	<p>風呂・シャワー室での使用禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気が多い場所では使用しない (感電および故障の原因になります)
<ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります) 	<ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は必ず電気工事に依頼する (間違った電気工事は感電のおそれがあります)
<p>指示に従い必ず行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る (通電状態では感電やけがをすることがあります) 	<p>指示に従い必ず行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は手袋を着用する (着用しないときけがをすることがあります) ●長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

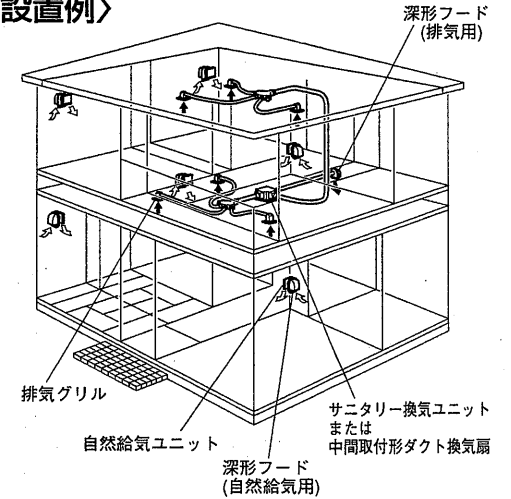
特長とシステム例

サンタリー換気ユニットまたは中間取付形ダクト換気扇に、次のシステム部材を組合わせて「高気密住宅用常時小風量換気システム」として使用します。

システム部材

- 自然給気ユニット〈P-13KQU2(BE)〉
- 排気グリル(フィルター付タイプ)〈P-05GL(BE)〉
- 深形フード〈P-13VA2-BK、P-13VP-BK〉

〈設置例〉



〈高気密住宅用常時小風量換気とは〉

現代の住宅は高気密化が進み、自然に頼った換気だけでは室内空気環境が悪化します。そこでこのシステムでは必要な風量(小風量)で常時換気を行うことにより、室内空気環境の悪化を改善します。

〈システムの特長〉

- ①「居室」専用の換気システムです。
- ②小風量換気で省エネ・低騒音運転ができます。

〈システムの効果〉

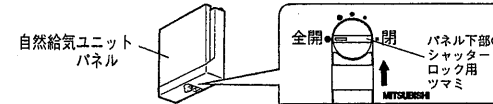
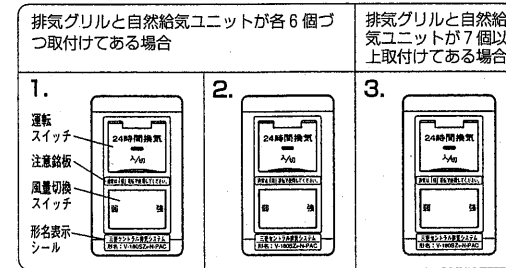
- ①居室内の湿気を排出し、結露を抑制してカビ・ダニの発生を抑制します。
- ②部屋の中に発生する炭酸ガス等の汚染物質や臭気を排出し、新鮮空気を補給して空気のおよみを解消します。

〈常時小風量換気システムの概念〉

居室と外気の一方通行の換気通路を確保して、湿気・炭酸ガス・臭気の拡散を防止します。

使用方法

※取付けてあるコントロールスイッチを確認し、下記操作をする。



ツマミ位置(シャッター開閉状態)	使用状態
全開 ●	● 通常使用するとき
↑ ●	● 給気量が多くて寒いときなどに風量を少なくするとき
↓ ●	● 台風などの外風の侵入が強いとき、または、冬場の給気による肌寒さを感じるとき
閉 ■	

コントロールスイッチの運転スイッチは常時「入」で使用

- 長期不在・点検時には「切」にする。

■風量切換スイッチについて

1. の場合

通常は左側を押して、「弱」で使用する。早く換気したいときは右側を押して、「強」で使用する。

2と3. の場合

通常は右側を押して、「強」で使用する。

■自然給気ユニットについて

シャッターは、「全開・閉」以外に3段階の調節が可能。左表を参照してシャッターロック用ツマミを調節する。

- 通常「全開」で使用する。台風など外風の侵入がほげしいときは「閉」にし、その後必ず「全開」にする。

お手入れ

ほこりの付着が風量低下や異常音発生の原因になります。
約2か月に1度を目安として排気グリル・自然給気ユニット・フィルターの清掃をする。

●お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わない。



警告

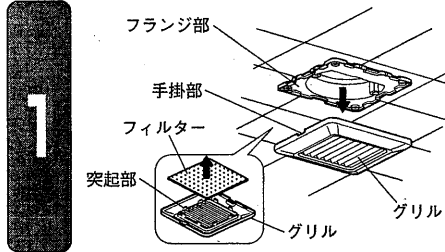
お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
(通電状態では感電やけがをすることがあります)



注意

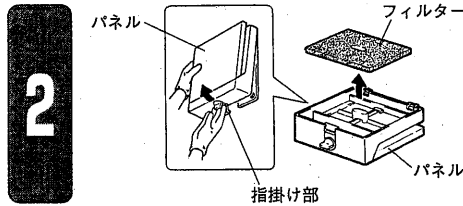
お手入れの際は手袋を着用する
(着用しないとけがをすることがあります)

部品のはずしかた



■排気グリル (P-05GL (-BE))

1. 両側の手掛部を持って下へ引く。
2. グリルからフィルターをはずす。



■自然給気ユニット (P-13KQU₂ (-BE))

1. 指掛け部に指を掛けて手前に引く。
2. パネルからフィルターをはずす。

清掃のしかた

- グリルやパネルの汚れは、ぬるま湯（40℃以下）で浸した布をかたくしぼってふき取る。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。
- フィルターは、軽く手でたたかまたは、掃除機でほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、水または、ぬるま湯（40℃以下）に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。
(熱湯での洗浄やもみ洗いは破損の原因になります)

お願い

- 水洗い後は十分に水気を取ってください。
- シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤は使用しないでください。(変質・変色する原因になります)

■フィルターの交換

自然給気ユニットのフィルターは水洗い5～6回を目安にシステム部材 (P-13KQFH) と交換する。

組立てと確認

各部品の取付けは取はずしと逆の順序で行う。

取付け後確認する。

- ①部品が確実に取付けられていますか
- ②異常な音が出ていませんか

お願い

- フィルターを入れ忘れないようにしてください。(壁や天井が汚れる原因となります)

修理を依頼する前に

下記のような症状があれば点検してください。

症状	原因	点検・処置
換気しない (運転しない)	●停電している ●分電盤のブレーカーが切れている	ブレーカーを「入」にする
運転中に異常音や振動がある	●フィルターが目詰まりしている	フィルターを清掃する

点検・処置をしても直らない場合は、分電盤のブレーカーを「切」にして必ず販売店に修理を依頼してください。

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この三菱セントラル排気システムの補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です。

●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

お客さまメモ サービスを依頼される とき便利です。	形名	V-180SZ4-N-PAC・V-18ZMPC3-PAC2
	お買上げ年月日	年 月 日
	お買上げ店名 (住所) (電話番号)	()

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
(材質名は主材料にISO規定の略号を使用)



中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。